

教科名	公民	科目名	公共
対象	全スタイル	年次	1
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	2
単位数	2	備考	必修修科目

教科書・補助教材等	公共 (東京書籍) 公共701 プリント		
学習の目的	公共の様々な課題に対して多角的な視点から捉える力を涵養すると同時に、社会で生きるために必要な正しい判断、正しい行動について理解を深め、人間として正しいあり方、生き方を目指す。		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	オリエンテーション 公共的な空間をつくる私たち ・現代社会に生きる青年 ・社会的な関係の中で生きる人間	青年期の特徴と自己形成の課題、個人、社会、伝統・文化の3つの視点から捉えた人間の在り方について理解する。
	5	公共的な空間における人間としての在り方 ・功利主義と幸福の原理 ・義務論と公正の原理	功利主義・義務論についての理解を深め、課題や問題に関し学生が主体的に考えるようになるようにします。
	6	公共的な空間における基本的原理 ・民主主義、立憲主義とは ・人権保障の意義と展開 民主政治と私たち ・国会、内閣の仕組み	現代社会を生きる者に求められる、民主主義について、国会、内閣などの仕組みについて学び、関心を持たせて、今後の政治への積極的参加へ促す。
	7	法の働きと私たち ・法や規範の意義と役割 ・市民生活と私法 ・国民の司法参加	社会規範の中で法の特徴を理解させる。また、それぞれの法の持つ意味を理解させ、法と道德の関係について理解を深める。
	8		
9	経済社会で生きる私たち ・私たちと経済 ・市場経済の仕組み ・国民所得と経済成長	経済・企業・市場経済などの日本経済について理解を深め、日本経済の現状と課題について考える。	

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	市場経済における金融の働き ・金融の仕組みと働き 財政の役割と持続可能な社会保障制度 ・財政の働きと課題 ・社会保障の考え方と課題	金融、財政、社会保障について押さえ、それぞれの課題について主体的に考えていく
	11	私たちの職業 ・働くことの意義と職業選択 ・労働者の権利と雇用、労働問題	高度経済成長から安定成長、石油ショックからバブル崩壊という戦後の日本経済について理解を深めると同時に、日本経済の現状と課題について考える。
	12	国際社会のなかで生きる私たち ・国際社会のルールと仕組み	日本が国際社会において果たすべき役割について、国際社会の仕組み、地域統合の進展について等を理解させる。
	1	・国際社会と平和主義 ・国際平和への課題 ・グローバル化する国際経済	国際社会の様々な課題について考察し、国際社会における日本の役割について理解を深める。
	2	持続可能な社会づくりに参画するために	持続可能な社会とは何か、その理解から発展し、我々にできる社会づくりへの参画方法を具体化し、今後の活動に活かせるよう促す。
3	復習		

学習上の留意点	与えられた課題について自ら調べ、自ら考える能力を身に付けられるよう、生徒が主体的に考える時間を設ける。また、時事問題等の現代社会に関する様々な課題について、日常生活と密着させて考察させる。
---------	--

評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	現代社会の政治・経済・国際関係に関する基本的問題、事柄に対して関心を高め、意欲的に追及しているか。	レポートの評価と定期考査の出題範囲における習得の状況の評価し、総合的に評価する。
思考・判断・表現	公共における政治・経済・国際関係に関する基本的問題、事柄から課題を見出し、多角的な視点から考察しているか。	
知識・技能	課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で適切に表現できているか。 公共における政治・経済・国際関係、人間としての在り方・生き方に関する基本的な課題について理解し、その知識を身に付けられているか。	